

# 佐渡案内

文化庁が募集した「わたしの旅 日本の歴史と文化をたずねて」に、佐渡伝統文化研究所準備室が応募した旅のプラン「佐渡案内」が、百選として選定されました。

## 旅の趣旨

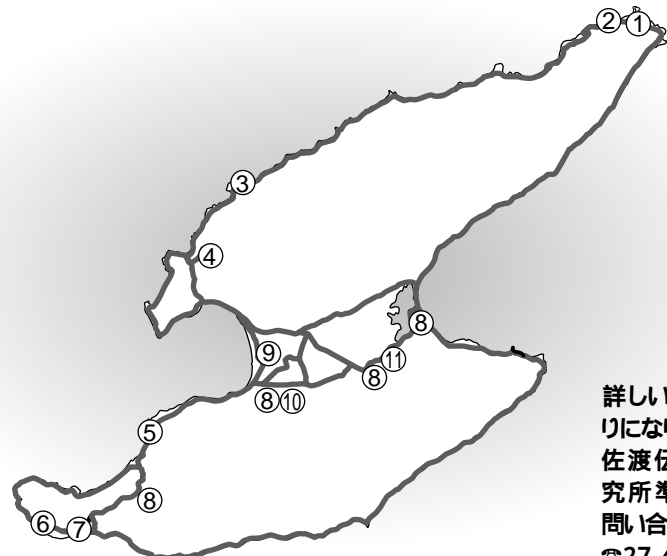
佐渡は日本の縮図と呼ばれ、各地域に独自の文化・歴史を持ち、今なおその伝統を受け継ぎ、昔の日本を強く残しています。

佐渡は離島ということもあるため、情報の発信・伝達が難しく、あまり周知化されておらず、島外者に佐渡のことを尋ねると県内の人ですら「佐渡は金山とキの島」というイメージしか持っていない人が多い現状です。

しかし実際に佐渡に来た人たちから感想を聞くと、佐渡のイメージが「歴史と文化の島」に変わったという声を聞きます。ですがどこに行ってもいいか、どうすれば様々な地域の歴史・文化・自然を知ることができるのかわからないという苦情・要望があります。そのため、来島した人たちが、佐渡を知るために回る初心者コースと、より佐渡のことを知りたい方のためのコースを考えました。

旅の時期 6月上旬～中旬  
旅程

1日目	二ツ亀・大野亀 賽の河原 尖閣湾
2日目	佐渡金山 西三川ゴールドパーク 宿根木 矢島・経島 薪能鑑賞
3日目	佐渡博物館 妙宣寺 トキの森公園



詳しいこととお知りになりたい方は、佐渡伝統文化研究所準備室にお問い合わせください。  
☎27-4120

## 「毎日が火の用心」

防火意識の高揚を図ることを目的に、中央消防署管内の小学生を対象に火災予防の一環として防火標語を募集しました。

今年は、318点の応募があり、最優秀賞1点、優秀賞16点を選考しました。

- 最優秀賞  
 沢根小学校6年 須田滉生  
 「火の始末 気付く心で 防く火事」
- 優秀賞  
 沢根小学校1年 静間幸恵  
 「わすれない じぶんがつけた 火のしまつ」  
 沢根小学校3年 加藤慶志  
 「べんりな火 一歩ちがえば 火事になる」  
 八幡小学校4年 生田理紗子  
 「火の始末 あわてず あせらず 確実に」  
 真野小学校3年 鈴木まみ  
 「お出かけの 一番さいしよは 火のチェック」  
 西三川小学校1年 金子光  
 「つけたひは けすまでじぶんの せきにんよ」  
 西三川小学校5年 佐々木唯  
 「遊びでも してはいけない 火遊びは」  
 小倉小学校1年 杉本静花  
 「じしんだぞ あわてずおちつき ひをけそつ」  
 小倉小学校6年 猪俣大祐  
 「消し忘れ きついたときは もうおそい」  
 新穂小学校5年 仙土史佳  
 「大丈夫 そついう心が 火事になる」  
 新穂小学校6年 小杉志穂美  
 「気をつけて でかけるまえに 火の点検」  
 後山小学校5年 松本咲季  
 「ねる時は、 火もとみてから ぐつすり」と  
 行谷小学校1年 菊池斗輝生  
 「ちかいます ぼくもわたしも 火あそびしません」  
 行谷小学校3年 大旗拓海  
 「火のこわさ わかってからでは おそすぎる」  
 行谷小学校5年 北見奈緒子  
 「その火から 放れちやダメだよ 最後まで」  
 金井吉井小学校1年 伊藤みなみ  
 「ちいさなひ あつというまに おはけのひ」  
 金井吉井小学校3年 瓜林達哉  
 「気をつけて 命にかかわる 小さな火」
- 佐渡市中央消防署

## 夢フェスタ2005



平成の大合併で誕生した新市町村の魅力を紹介する「全国合併市町村 夢フェスタ2005」が11月2日から5日まで、東京都汐留地区で開催され、全国から132市町村が参加しました。佐渡市からもパネル展示やパンフ配布、特設ステージでの佐渡おけさを披露し、会場を訪れた方から賞賛の言葉をいただくなど、全国へ佐渡市をアピールできた絶好の機会となりました。

## 国分寺まつり

11月6日(日)、佐渡市と姉妹都市提携を結んでいる東京都国分寺市で第22回国分寺まつりが開催されました。

今年も佐渡市から、漁協関係者などの参加により、新鮮な佐渡の農産物・水産物のPRを行いました。中でも、鮮魚販売コーナーでは、開場前から長蛇の列ができ、開場後はあっという間に完売するほどの人気ぶりでした。また、メインステージでは、小波会による佐渡民謡が披露され、観客の目を集めていました。

このまつりには、旧真野町と姉妹都市提携を結んだ平成元年から参加しており、毎年佐渡の物産展や民謡を楽しみにしてくる方も多いということで、会場はたくさんの人々でにぎわっていました。



## 佐渡國鬼太鼓in原宿ファイナル



鬼太鼓をはじめとする郷土芸能や、故郷の「食」を首都圏にアピールし、観光誘客に一役買ってきた「佐渡國鬼太鼓in原宿」も、11月19・20日に開催されたのを最後に、約20年の歴史に幕をおろしました。

今年も佐渡から芸能団体など480名余りが上京し、佐渡の魅力を実感して来ました。

来場者からは、「このイベントをなんとか続けてほしい」と惜しむ声があちらこちらで聞かれました。現在、実行委員会では、来年以降の新しい企画について検討しています。



## アイランダー2005

11月26・27日の2日間、東京都池袋で、「アイランダー2005」が開催されました。

「アイランダー」とは、島で生活する人や島を愛する人、また、島の発展を応援する人を意味するもので、このイベントは、離島地域の活性化を図ることを目的に行われており、今年が13回目となりました。

今回参加した島は、佐渡島のほか、伊豆大島や、長崎県五島列島、沖縄諸島の島々など約150島、そして都市近郊から2日間で12,000人余りの来場者でにぎわいました。

佐渡市からは、トキのぬいぐるみでのPRやコシヒカリ・海産物などの特産品販売や、わらのほうき作りなどの体験コーナーを設け、また、ステージでは春駒と佐渡民謡を披露し、島の魅力をアピールしました。

島には自然の力や伝統的な生活様式など都会にないものが数多く残っており、離島情報を知りたいという方も少なくありません。今後こうした都市と離島を結ぶイベントに参加したいと考えています。

